

氏名	須永 康代	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	生体運動学, ウィメンズヘルス理学療法学				
学位	修士(保健学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科、2011年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程前期修了、同博士課程後期在学中				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2010年 埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教				
所属学会(役職)	日本理学療法士学会(ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門運営幹事)、埼玉県理学療法士会(新人教育部員)埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(学会誌編集委員)、専門リハビリテーション研究会、日本母性衛生学会(査読員)、臨床歩行分析研究会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	理学療法士のためのウィメンズ・ヘルス運動療法	共著	医歯薬出版;P278	山本綾子、荒木智子、須永康代 他	2017.5
2					
3					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3) 学会発表					
1	地域在住高齢者の骨密度・体力・QOLおよび食事内容の検討	共著	第52回日本理学療法学会、千葉市	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、内山真理、萱場一則、廣瀬圭子、遠藤直人	
2					
3					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	妊娠中の姿勢と動作様式の個別的变化の成因分析を画期的転倒予防プログラムへ導く研究(研究代表者)			2015.4~2019.3
2	埼玉県立大学奨励研究費(A研究)	住民主体の骨粗鬆症と転倒の予防教室に対する行政と連携した支援の短期的効果と自立して実施している教室の長期的効果の検討(研究分担者)			2015.4~2018.3
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達障害理学療法学	2017.4~2017.7	運動発達検査や動作の発達について画像や動画を活用して講義を行った。		
2					
3					
(2) 演習					

1	発達障害理学療法実践テュートリアル	2017.11～2018.1	実際の症例情報を提示し、学生がグループディスカッションを行った。さらに理解を深めるためにディスカッション内容についてプレゼンテーションを通して共有した。	
2	ウィメンズヘルス理学療法学	2017.11～2018.1	女性のライフサイクルにおける変化と特徴的な疾患についての講義と理学療法評価・治療に関する実技を行った。さらに文献抄読を通して理解を深めた。	
3	理学療法セミナー(OSCE1)	2017.6～2017.7	実習に向けた問診や医療面接技術の指導、客観的臨床能力試験(OSCE)を行った。	
4	理学療法セミナー(OSCE2)	2017.4	実習に向けた理学療法評価等の指導、客観的臨床能力試験(OSCE)を行った。	
5	理学療法特別演習	2017.10～2017.2	病理学分野における過去の出題傾向に準拠して、国家試験対策を行った。	
(3)実習				
1	発達障害理学療法実習	2017.4～2017.7	ゲストスピーカーとともに、正常発達、発達障害児における理学療法評価及びアプローチの実践について関わった。	
2	運動学実習	2017.4～2017.7	歩行分析について、簡易的手法と機器を用いた手法の実践を行った。	
3	臨床教育実習Ⅰ	2018.2～2018.3	2年次生を対象に2週間の検査・測定実習を実施した。実習中は実習指導者との状況確認を行い、実習後は学生の報告をもとにフィードバックを行った。	
4	臨床教育実習Ⅱ	2017.9～2017.10	3年次生を対象に5週間の評価実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。	
5	臨床教育実習Ⅲ	2017.4～2017.6	4年次生を対象に8週間の総合実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。	
6	臨床教育実習Ⅳ	2017.6～2017.7	4年次生を対象に5週間の地域/特定領域実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。	
7	IPW実習	2017.1	4日間の実習を通して、多職種連携について実践・指導を行った。	
(4)論文指導				
1	該当なし			
2				
3				
(5)その他				
1	3年次生副担任	2017.4～2018.3	ガイダンスや個人面談を通して、学生生活の指導を行った。	
2	ゼミ担当	2017.4～2018.3	1～3年次生を対象にゼミを開催して、学生生活の指導を行った。またゼミを通して学生間の交流を図ることができた。3年次のゼミ生には、卒業研究に向けた準備として研究指導を行った。	
3	PTセミナー	2017.4～2017.12	1～4年次生を対象に3回のセミナーを開催して学生間の交流を図った。グループごとに大学生生活、臨床教育実習、国家試験と就職活動をテーマに交流を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学 理学療法学科 臨床教育実習指導者講習会	埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科	ウィメンズヘルス理学療法の基礎	2017.8
2	ウーマンズヘルスケアフォーラム2017	株式会社エパーウォーク、女性のリハビリテーション研究会	ウィメンズヘルス理学療法の現状とこれから	2017.10
3	第26回埼玉県理学療法学会	埼玉県理学療法士会	教育講演:ウィメンズ・メンズヘルスと理学療法の可能性	2018.1
4	埼玉県理学療法士連盟女性局主催 平成29年度第1回研修会	埼玉県理学療法士連盟女性局主催	ウィメンズヘルス～骨盤周囲の機能解剖と骨盤底筋運動の実際	2018.2
5	第3回ウィメンズヘルス理学療法研究会埼玉支部会	ウィメンズヘルス理学療法研究会埼玉支部会	シンポジウム:私×仕事～work life barance	2018.3

(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会誌編集委員		
2			
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		